

# 滋賀県国民健康保険保健事業実施計画 (県データヘルス計画)の概要

## 第1章 目指す姿 「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現」 「健康寿命の延伸」および「医療費の適正化」

市町…国保の保険者として行う保健事業について  
データ活用とPDCAサイクルにより効果的・効率的に推進  
県…市町と一体となってデータヘルス計画を推進  
広域的な事業の推進や、保険者間の連携等により市町を支援

### 第1章 データヘルス計画とは

- ・健康、医療のデータを活用して地域の健康課題を明確化し、PDCAサイクルに沿って、効果的かつ効率的な保健事業を実施するための計画
- ・計画策定は市町の努力義務

平成26年3月「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」

### 第1章 県データヘルス計画

- ・特徴：市町データヘルス計画とたて串の通った計画としたこと
- ・国保制度改正により平成30年度から県も保険者として国保の運営を担う
- ・国保保険者として、市町と共に保健事業を推進するため、本計画を定めるもの  
計画期間 平成30年度～平成35年度

### 第2章 計画策定の方法・背景、第3章 県の現状

### 第4章 県の健康課題

本県の健康課題は次の4つ

- (1) 虚血性心疾患  
虚血性心疾患の中でも急性心筋梗塞の死亡率が全国より有意に高い。
- (2) 脳血管疾患  
死亡率は低下しているものの、要介護認定者の原因疾患1位である。
- (3) 糖尿病性腎症  
人工透析患者のうち、糖尿病性腎症が原因となっている者が、44.1%である。
- (4) 悪性新生物(がん)  
死因の1位であり、全国と比較しても女性の胃がんの死亡率は有意に高い。

## 第4章 計画における目標値

※目標値については、平成28年度に19市町と協議のうえ、特に重要な項目として各市町が共通して目標設定すべきものを計画に掲げた。

資料4-1

### 県・市町国保における共通の目標(平成35年度)

目標項目	現状値(H27)	目標(H35)
特定健診受診率	38.2%	60%以上
継続受診割合	71.2%	75%以上
新規受診者割合	17.5%	19%以上
3年連続未受診者割合	45.3%	40%以下
40歳代の健診受診率	19.1%	19%以上
50歳代の健診受診率	26.4%	28.5%以上
特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合	36.0%	35%以下
情報提供実施率	100%	100%
特定保健指導実施(終了)率	30.8%	60%以上
受診勧奨判定値以上の者の医療機関受診率	17市町で 24.4%	19市町で 60%
上記のうち、別に定めるハイリスク者の医療機関受診率	41.8%	勧奨・再勧奨100% 医療機関受診率80%

### 第4・5章 取組方針

#### 《健康課題に対する取組方針》

- 虚血性心疾患  
虚血性心疾患の一次予防ガイドラインに基づき、危険因子である脂質異常症、高血圧、喫煙などの減少をめざした事業や特定健診・保健指導
- 脳血管疾患  
脳卒中治療ガイドラインに基づき、危険因子である高血圧、糖尿病、脂質異常症などの減少をめざした事業や特定健診・保健指導
- 糖尿病性腎症  
滋賀県糖尿病ネットワーク推進会議・糖尿病地域医療連携推進会議による糖尿病対策の推進体制の整備、糖尿病重症化予防プログラムを基とした医師会等との連携による取組の推進
- 悪性新生物(がん)  
特定健診とがん検診の同時実施や受診啓発による受診率の向上をめざした取組、たばこ対策、食生活の改善、がんの原因となる感染症の予防などによる発症予防の推進

#### 《医療費適正化対策の取組方針》

- 後発医薬品の使用促進  
全市町による差額通知、後発医薬品希望カード(シール)の配布など
- 重複受診者等への訪問指導  
全市町の共同事業による重複受診者、頻回受診者、重複投薬者等への訪問指導